

上島の文芸

水曜会【弓削】

尺蠖に物干竿の長さかな

詰襟と別れ夏服清々し

老鶯の癒しに庭の手入れかな

草引きて子の入れくれしコーヒーを

さみだるる日の部屋の灯を煌々

亀島 一美

田坂 紫苑

田坂 芙代子

中本 砂恵子

中脇 幸造

生名短歌会【生名】

瀬戸の海春明けゆけり小波の走りを見れば老を忘れる

母の日に香り良き花届けられ晴れたる窓あけ大きく息する

ことの外早い梅雨入りに時鳥夜明を待たず鳴き渡りゆく

ほととぎすよく啼く夕べと書き出してホームの友へ二度目の便り

予知もせぬ天災人災又聞けり静かに暮るる吾の花畑

季節巡り初夏は大好きみかん花朝の空気に漂う香り

花束を抱えて写される席の位置直されながら緊張しきり

池田 友幸

むつみ歌会【岩城】

早足に町を闊歩し帰りきて椅子に坐れば八十路にもどりぬ

亡き父の「共存共栄」平和的死語なれど好きな言葉のひとつ

雲かむる函館山は一夜明けこれ見よかしと朝日にぞ映ゆ

果てしなき天地の中に生かされて限り有る身を精一杯生く

鶯と共に鳴き交ふほととぎす托卵の谷声調は優しく

吾が歌を古い古いと他人の言へり我は温故知新を尊ぶ

くるくると手首回せる母いとし握手交はして病室後にす

宮本佳世子

浪本 綾子

池田 繁雄

森本 和佳

浪本 三千彦

白石 勇

高本 久子

魚島俳歌柳会【魚島】

老妻の野菜作りが空梅雨で朝な水やり欠かせぬ羽目に

当てにせぬ三億円と言ひ言ひて亡き父母の教え傘寿の羅針盤

雪山と黒部ダム見て震えをり一族に会える楽しみ墓参り

見上げしは梅雨の晴れ門の夏の雲眼を病んで他人のいたみ添える身に

帰省者で賑わう神社子供の日鮮やかな青紫陽花の雨上がり

柳 小福

我が姿一句に示す知人おり
夜釣人来て週末の波止混みぬ

松原 瑞峰

7/7

第1回 かみじまボールパーク

7月7日、いきなスポレク公園において、第1回かみじまボールパークが行われました。これは、今年弓削ソフトボール部会によるリーグ戦が第50回の節目を迎えることを記念して、近隣の島や愛媛県庁などのチームを招待し、ソフトサル部会と共同で開催されたものです。暑い中、選手は懸命にプレーし、ソフトボール、フットサルとも白熱した試合が繰り広げられました。



犯罪・非行防止を呼びかける

7月2日に魚島港、5日に岩城港、8日に弓削港において、7月の「社会を明るくする運動」強調月間並びに「ダメ。ゼッタイ」普及運動の街頭キャンペーンが行われました。

当日は、保護司をはじめ、民生児童委員、有害薬物乱用防止指導員、更生ボランティア、少年警察協助力員、伯方地区防犯協会、伯方警察署、学校関係者、防犯相談所長、町行政関係者等が船便利利用の乗降者や周辺通行人に、犯罪・非行防止を呼びかけ、さらに有害薬物乱用を願いました。

